

『固有の絶対値』

1. 「着実・前向き・具体的」

私は、平成6年、船井総研で学んで「客員経営コンサルタント」の資格を得て翌年7月に独立しました。右掲は、5月7日に発行したFax通信誌です。平成8年4月から月2回発行して、通算291号になり、信条の「着実・前向き・具体的」を実践するツールになっています。

私は、元来、ラッキーな運勢なのかも知れないと思うのですが、いつも自分を前向きさせてくれる情報や人が現れて救われて来ました。さくらKCSの水島さんにはサラリーマン時代にコンピュータでお世話になったのですが、そのご縁で同社の「PL法セミナー」を手伝わせて頂き、セミナー参加企業をフォロー訪問させて頂いたのです。私は、名刺交換させて頂いた方に毎月「AMIニュース」というブレティンを郵送させて頂いたのです。4ヶ月ほど経過した時にT社から「ちょっと、相談したい事がある」という電話を頂き、そのご縁で「Faxちらし・3段活用マーケティング」という当社の一番商品で契約できたのです。この「Faxちらし」の自社実践として「AMIコンサルティング Fresh & Hot情報通信」を創刊したのです。

長い前振りになりましたが、こんな経緯で始めたのです。「着実・前向き・具体的」という信条で発行し続ける事で今日に至り、このFax通信が「無人営業」してくれたのです。

参照:「それは1枚のブレティンで始まった」:<http://www.web-ami.com/br/013.html>



2. 「見えざる資産」

このように、当社も創業以来のドラマがあり、その度に、いろんなお客様に恵まれて来ました。このように、どちらの会社にも隠されたドラマがあるのです。右掲は、当社のホームページです。ごく普通のものと思いますが、1日平均40位のページビューがあります。ところが、ある特定の時に、200位に跳ね上がるのです。

それは、どんな時かと言いますと「ブログ」を発行した時や「メルマガ」を発行した時なのです。ブログやメルマガの記事に、自社サイトの記事と連携する事によって、特定の箇所にアクセスして頂いているのです。Webという「顔」の見えない世界で、少し、お客様のレスポンスが見えるのです。中には、「あの記事は、社内の勉強会で使ったよ」と感謝のメールを下さる方もいらっしゃいます。

もちろん、当社のホームページには、13年間にわたって蓄積して来た「知識」と「経験」を情報として掲載してあります。外から見て見えない情報を「見えざる資産」と表現するのですが、私は、ホームページに蓄積する事で「知識・経験データベース」化しています。サイト内検索で、過去の経験をキーワード検索が出来るようになっていて、即座に、情報を引き出す事ができます。この単純な仕掛けですが、「情報共有化」としてのデータベース化が実現できているのです。



3. 「固有の絶対値」

漫才師の島田洋七さんの著書「佐賀のがばいばあちゃん」が有名ですが、彼がTVで「仕事さえしておれば、何しててもよい」とおばあさんに教わったと言っていました。「何してても」と言っても人生は一度切りですから、あれこれと迷わずに、一途に「やり続けられる」ことが重要です。私の場合、その「やり続けられる」事の一つが「記事」を書く事だったのです。右上は、イエローハットの会長である鍵山さんの言葉なのですが、Fax通信の記事を書くことによって、自分を見失うことがなかったのですが、その蓄積が12年を超えて通算291号なのです。

鍵山さんの言葉
10年偉大なり、
20年畏るべし、
30年歴史になる

ホームページには、「クルマが売れるコンピュータで始まった」<http://www.web-ami.com/cl.html>を101話書いています。その他にも

☆「愛語回天花まる人生塾」(メルマガ):通算94号:<http://www.web-ami.com/mag.html>

☆「障子を開けよ、外は広い」(ブログ):<http://amiami.txt-nifty.com/>

☆「会わずに売る逆転のNASA戦略」(ブログ):<http://www.shigyoblog.com/nasablog/>

☆「AMIニュース」(メルマガ):関係「e-資料」:<http://www.web-ami.com/siryu.html>

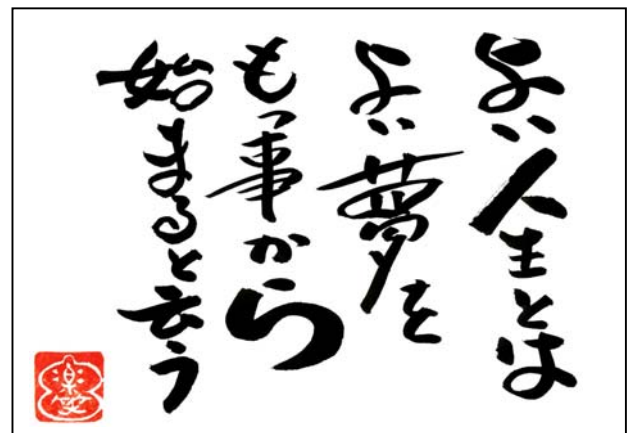
などの蓄積があります。

このような「蓄積」を「固有の絶対値」と呼ぶのですが、これらをいつでも引き出せるようにしておく事が重要です。「知識」の段階に留めずに「経験」というレベルで蓄積するのです。そして、この蓄積した情報から選び出すには「サイト内検索」やYahooやGoogleという検索エンジンによってキーワードで引き出せるのです。「活用できる」という点が重要なのです。「知識」を「経験」化して、それをデータベース化することが鍵山さんのいう「10年偉大なり」というものになるのです。私は、「記事」を書くことによって「無人営業」ということを追及して「自分流」が形成されて来ました。

4. 「続けられる事が才能」

右は、楽笑さんの遊書ですが、「よい人生」には、「よい夢」が必要なのです。その夢を実現するには、実は、自分がやり続けられる事がベースなのです。宝くじもありますが、自分の「夢」につながる「才能」を磨き続けることでようやく実現できるのです。

「楽しくやり続けれる」という事は、次から次へとアイデアが湧き出ることにもつながります。このアイデアが湧き出る事が「楽しい」であり「才能」と考えます。



【まとめ】

1. 「知識・経験データベース」で「見えざる資産」を活用できるようにする
2. 「固有の絶対値」:「10年偉大なり、20年畏るべし、30年歴史なり」(鍵山会長)
3. 「やり続けられる」ことが「才能」
4. 楽しいとどんどんアイデアが湧き出てくる

【AMIニュースのバックログは<http://www.web-ami.com/siryu.html> でご覧になれます！】